

## 平成 24 年度事業報告

【事業実施期間】 平成 24 年 6 月 6 日～平成 25 年 3 月 31 日

- 「いのちのスープの会」は毎月の実施で 51 名が参加した。また、「金沢マギー」との連携もはかり、いのちのスープである玄米スープを参加者に提供し、好評を得た。
- 「聞き書きボランティア事業」では「能登聞き書き学校」を開催し、石川県を含めた全国から 81 名が参加し、患者・高齢者の聞き書きの普及と実践力のレベルアップをはかる事ができた。その成果として、日常的な聞き書きの実践を医療現場等で行っている。
- 「障がい児・者の居場所づくり事業」では地域に根ざした人材のネットワーク作りを積極的に展開した。その結果が次年度 4 月から展開される「こころのオープンカフェ」につながっている。
- 魂のいちばんおいしいところ  
今回のステージ構成は、運営委員の思いが出せるよう、企画段階から作り上げ、「生きる喜び」をテーマとし、中出氏制作実演をメインにし、講演会、演奏会を行った。また、ユニバーサルに配慮し、講演箇所は、要約筆記、手話通訳ボランティアを準備した。その結果多くの感動と共感を得る事が出来、次回の開催を期待する声が多く得られた事は、大きな成果であった。今回の開催では 210 名が参加した。
- 「子育て中の親子の育児支援」では子育ての母親を対象に、キッチンガーデンを育てる楽しさ発見をテーマに年 4 回開催し、57 名が参加した。
- 「金沢マギー」では「金沢一日マギーの日」を開催し、いのちについて考え、金沢らしいマギーを模索する取り組みに 61 名が参加し、多くの共感を得る事が出来た。
- 次世代育成事業  
能登聞き書き学校、金沢一日マギーの日、金沢がん哲学外来に参加し、学生ボランティアの育成につとめると同時に、各部会の活動を積極的に支援した。
- 「金沢がん哲学外来」では年 6 回開催し、がん患者・家族の相談として 18 名の相談を受け付けた。がん患者さんからは、医者（相談担当医）とじっくり話す機会がなかった。また、相談後の感想としては、いろいろなおはなしが出来て良かったとの感想があった。この開催では講演会も 4 回併設し、計約 300 名が参加した。

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	事業詳細概要
①いのちにやさしいまちづくりに関する事業	・能登聞き書き学校	8月17日(金)～ 19日(日)	石川県健康の森 (輪島市)	12人	81人	1,419	○患者・高齢者の聞き書きボランティアの育成・聞き書きの普及と実践
	・いのちのスープの会	毎月第一土曜日 計12回開催 午前10時～午後2時	しあわせのいえ (小松市)	2人	51人	54	○がん患者・家族と医療保健福祉従事者の食を通じた交流
	・魂のいちばんおいしいところ	平成25年3月31日(日) 午後1時～4時30分	小松市民センター (小松市)	7人	210人	595	○生と死の文化を豊かにするまちづくりのための講演とコンサート
②すべての子ども・障がい者の支援に関する事業	・障がい児・者の居場所づくり事業	6月9日(土)・ 10日(日)	ぼぼぼのいえ・梅田ふれあい広場 (小松市)	23人	200人	721	○相談・交流・情報発信
	・子育て中の親子の育児支援	6月21日(木)/ 7月19日(木)/ 10月18日(木)/ 11月15日(木) 時間:10時～ 11時30分	松任ふるさと館 (松任市)	5人	57人	79	○育児教室・相談・交流・情報発信
	・次世代育成事業	6月7日(木)・9日(土)・ 10日(日)・24日(日)/ 8月17日(金)～ 19日(日)/10月6日 (土)・13日(土)/12月14 日(日)	能登聞き書き学校・ 金沢一日マギ・がん 哲学外来を考える 会に参加 (金沢市、小松市、輪 島市)	2人	79人	20	○育児支援及び障がい児・者支援のための人材育成、学生ボランティアの育成
③医療保健福祉従事者と患者・家族のネットワーク推進事業	・金沢マギー	10月6日(土) 午前10時～ 午後5時30分	石川国際交流サロン(金沢市)	6人	61人	164	○患者・家族と医療保健福祉従事者の交流、講演会、情報発信、相談
	・金沢がん哲学外来	6月7日(木)・24日(日)/ 10月6日(土)・13日 (土)/12月14日(日) ぼぼぼのいえ:6月10日	金沢赤十字病院/金 沢医療センター/金 沢・近江町交流プラ ザ/石川国際交流サ ロン(金沢市) ぼぼぼのいえ(小松 市)	11人	18人	109	○患者・家族との相談、講演会